

トレードワルツとトムソン・ロイターが協業を開始

～パートナーサービスとして、トムソン・ロイターが提供する
「ONESOURCE Global Trade」を追加～

株式会社トレードワルツ

貿易情報の連携プラットフォーム「TradeWaltz[®]」を運用する株式会社トレードワルツ（以下：トレードワルツ）と、トムソン・ロイター株式会社（以下：トムソン・ロイター）はパートナーサービスに係る協業を開始しました。

トムソン・ロイターが提供する国際貿易管理ソリューション「ONESOURCE Global Trade」を TradeWaltz パートナーサービスとして追加したことを発表いたします。

The screenshot displays the TradeWaltz dashboard interface. At the top, a blue banner reads: "TradeWaltzパートナーサービスとして、トムソン・ロイター「ONESOURCE Global Trade」を追加しました。" (As a TradeWaltz partner service, we have added Thomson Reuters' "ONESOURCE Global Trade"). The dashboard includes several widgets: a summary bar with "Not Accepted 1", "Confirmation (To) 14", and "Notification 0"; a calendar for the period 2023-03-26 to 2023-04-08; a "Trading Status" table with columns for Section and Trading Name (Flow Name); and a "Partner Enterprise Service" section. This section highlights the "ONESOURCE Global Trade" service, describing it as an international trade management system that streamlines and automates processes like compliance risk reduction and cost reduction. It also mentions the "NEX" system, a Japanese government-backed trade insurance mechanism, and a "Country Category Reference" section.

■ グローバル貿易に関する規制やルールの変化と、経済協定利用の煩雑さ

国から国へと様々なモノを運ぶ貿易では、輸出入に関わるモノや運搬、管理方法などを規定する「国際貿易規制」が様々な角度から常に作成・更新されています。そのため、1つの国で国際貿易規制を確認しようとしても、複数の監督官庁にまたがる、様々な文書の確認が必要であり、情報の収集だけでも多くの時間と労力を必要としています。

また、自国産業を保護するために、海外からモノを輸入する際に政府からかけられる関税は、経済連携協定（以下：EPA）/自由貿易協定（以下：FTA）により減税・コスト削減が可能のため、輸出入者は活用方法を常に模索しています。昨今は RCEP とよばれる世界最大規模の地域的な包括的経済連携の EPA/FTA が発効されるなど、複数の選択肢があり、どの EPA/FTA を使うべきか迷う状況が続いています。

■最新の貿易規制へのアクセスを容易にし、取引データを活用したビジネスチャンス提案

トムソン・ロイターは、ONESOURCE と言う各国の貿易規制に関する情報の一括提供ツールや、取引データに基づいた FTA 活用の診断ツールなどを提供しており、貿易の基本的な取引データを持つ TradeWaltz とシステム間を接続することで、取引データに応じた①該当貿易規制の確認、②最適な FTA の選択・適用などを実現できる可能性があり、今後システム間接続も含む協業を検討中です。その第一歩として、今回トムソン・ロイターが提供する以下 2 つのサービスを、TradeWaltz パートナーサービスとして登録する運びとなりました。

ONESOURCE Global Trade Content	220 を越える国と地域の最新の国際貿易の規制内容を提供
ONESOURCE Analyzer Suite	HS コードに紐づく各国貿易取引情報、リスクの特定、さらに取扱製品に合った陸揚げコストならびに関税優遇制度の活用を分析したインサイトを提供

パートナーサービス登録を通じ、TradeWaltz と ONE SOURCE 両者の顧客が相手のサービスに興味を持ち、両製品の利用を検討・実施する中で、連携のニーズを確認し、ニーズが見えてくれば開発に進んでいきたいと考えています。

ONESOURCE 国際貿易管理の主なメリット

リスクの低減	コストの削減	業務の効率化	サプライチェーン業務の円滑化
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスの徹底 標準化されたプロセスの法令遵守における明確さ、効率、予測精度を全事業所および機能部門で維持します。 ・ リスクの特定 「起こりうる問題は何か？」に答えるソリューションです。 ・ リスク評価 「問題の発生確率、問題・被害の大きさ、全体的な影響の程度は？」、「問題の発見と回復にかかる時間は？」の問いに答えます。 ・ リスク低減とリスク管理 「リスク低減方法の選択肢は？」、「それぞれのコストと利点は？」の問いに答えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャッシュフローの増加 支出を一元化し、サプライチェーンのコストを削減します。 ・ 関税優遇制度を利用した戦略的調達で関税費用を削減します*。 ・ 罰金・罰則の低減 36%のグローバル企業が、コンプライアンスや文書作成の不備から生じる遅延や罰金を懸念しています*。 ・ 人員配置の最適化 スキルの高い従業員を高度な業務に集中させる一方、事務作業を自動化して負担の軽減を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミスの発生率低下 手作業・マニュアル作業の多さはコンプライアンスの阻害要因となります。 ・ 生産性の向上 従業員の事務負担を減らし、より高価値の戦略的業務にその時間と知的資本を振り向けます。 ・ 規制環境の変化への対応 規則改定のペースが速まる一方で、対応にかけられる時間は短縮されています。職場の増員や社内共通のコンプライアンス手順がなければ、スタッフは新規制要件への対応に苦慮することになります**。 ・ サプライチェーンプランニング サプライチェーン全体にとっての戦略的な機会（例：対中貿易摩擦）を特定します。 ・ 経営陣向けレポートの作成 日々変化する規制環境に対応するため、財務に与える影響とその対処プランについての情報を、経営幹部に提供します*。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サプライチェーンの可視化 自社のデータを複数の整合性のないシステムに保管するグローバル企業にとって、地域を超えたデータの可視化は必須課題の一つです。 ・ サプライチェーンの迅速化 サプライチェーン全体の情報を可視化できないと、企業と政府当局とのやり取りにかかるコストが増えるとともに通関手続きに遅れが生じかねません。 ・ 貿易データが一元化されなければ、関税、制裁、規制などの要因を分析してサプライチェーン内で最も節税効果の高い貿易ルートを選択的に判断することができません。 ・ 従業員の生産性を高め、サプライチェーンの混乱を低減します。 ・ eコマース支援 最新の規制要件と陸揚げコスト算定結果をリアルタイムで提供します。

■関係者のコメント

トムソン・ロイター株式会社 ストラテジック・アライアンス マネージャー 江頭 靖二

「この度、ブロックチェーン技術を活用した安全かつ信頼性の高い貿易情報連携プラットフォームである「TradeWaltz[®]」上で弊社の国際貿易管理ソリューション「ONESOURCE Global Trade」をパートナーサービスの 1 つとして提供させていただけるようになりました事を大変嬉しく思っております。今後とも弊社はトレードワルトツ様と協力し、貿易業務プロセスの簡素化とコンプライアンスの維持・強化に注力して参る所存です。」

株式会社トレードワルトツ グローバル&アライアンス事業本部 部長 林 洸太郎

「この度、輸出入管理、FTA、税務・会計、コンプライアンス管理業務において、各業界の最新情報にテクノロジーを掛け合わせ先進的なソリューションを提供するトムソン・ロイター様と協業発表をできたことを大変嬉しく思っ

います。今後も貿易ソリューションを提供するパートナー企業の皆様とともに、貿易の未来をつくり続けて参ります。」

■トレードワルツについて

商号 : 株式会社トレードワルツ
代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久
所在地 : 〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 5 号 霞が関ビルディング 36 階
WORKSTYLING
設立 : 2020 年 (令和 2 年) 4 月
事業内容 : ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz (注 1)」の SaaS (注 2) 提供
人員数 : フルタイム 55 名
URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ / 豊田通商株式会社 /
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社 TW Link /
東京海上日動火災保険株式会社 / 豊島株式会社 / 株式会社上組 /
株式会社フジトランス コーポレーション / 三井倉庫ホールディングス株式会社 / 株式会社日新 /
株式会社三菱 UFJ 銀行 / 丸紅株式会社 / 三菱倉庫株式会社 / 損害保険ジャパン株式会社

SDGs への取組み : 弊社サービスは主に 8,9,12,13,15,17 のテーマについての取組みを推進しています。



(注 1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社トレードワルツの登録商標です。

その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注 2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由で必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

本件に関するお問い合わせ先

トムソン・ロイター株式会社 担当 : 江頭、眞船 Email : marketingjp@thomsonreuters.com

株式会社トレードワルツ 担当 : 染谷、林、齋藤、中尾 Email : info@tradewaltz.com

以上